

ドアの向こう側

ここだけの話ですが

この物語はけして開けては
いけないドアの話です
もしかすると異界への
入口かもしれないからです



たぐちえっお



私の趣味はうまい酒と
食べ歩きだ 今日近所に
ラーメン屋が開店との事で
やって来たが
開店は一週間後だった

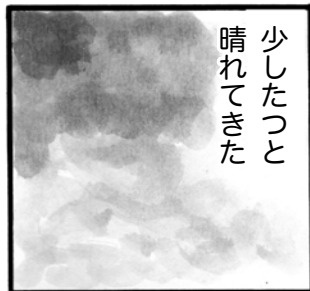


公園に
着くと

公園で昼食を
取る事にした



仕方なく
コンビニで
ビールと
弁当を買い



少したつと
晴れてきた

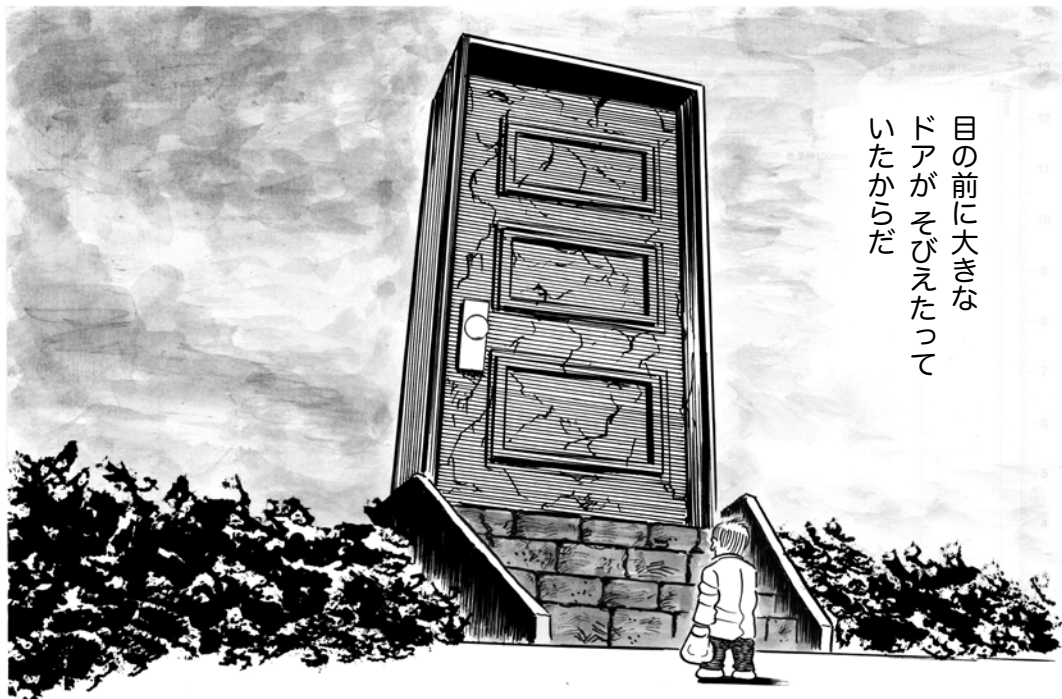


公園は濃霧で
おおわれていた



私は驚いた!!

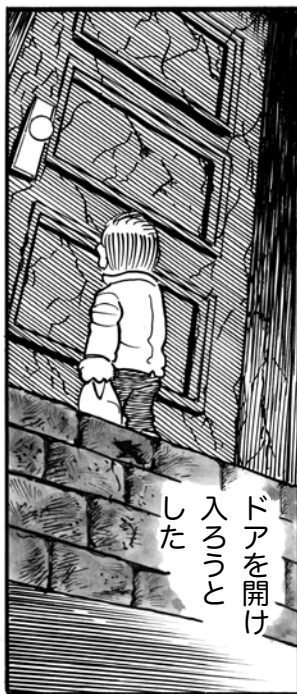
目の前に大きな
ドアがそびえたって
いたからだ



が手が
届かなかった



諦めた

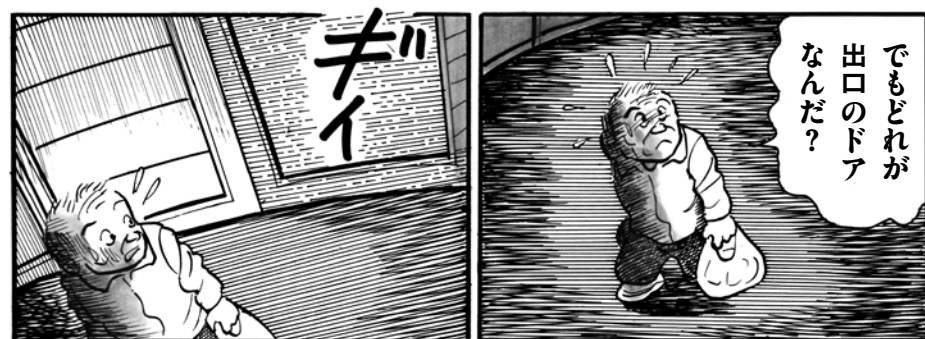
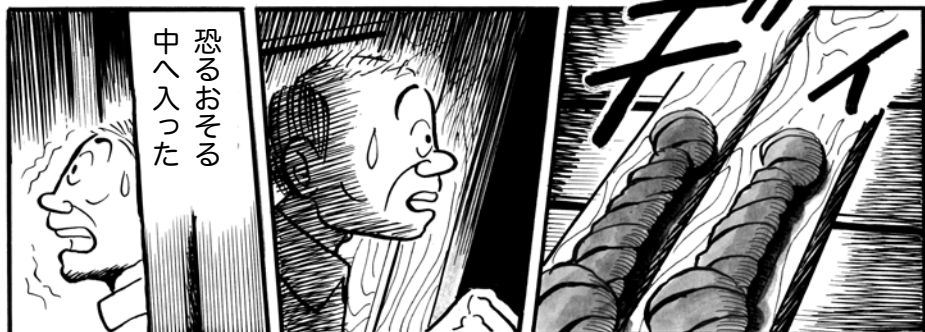


ドアを開け
入ろうと
した



大きな
ドアだな







真っ暗だ

開かない
どうしよう

誰か
助けて
くれ

明かりが
見える

遠ざかって
行く

とにかく
明かりの後に
ついて行って
みよう

少し白けて
きたぞ

そこにいる
のは誰!?

死んだ
父さん!?

